確認 1 . 役員校の選出方法について

前年度、県代表として全国大会、関東大会に参加した学校の中、および役員会で推薦のあった学校の中から5校～6校選出する。役員校の任期は2年とする。

確認 2 . 委員校選出の一時中断について

特定の委員校が全ての補助業務を行うという従来の方法では、大会を運営する事が難しくなっている。

- ・今年度も、委員校を新規に選出しない。
- ・大会運営の補助は、部員の多い学校に直接お願いをする。

提案 1 . 今後の顧問総会の持ち方と参加申し込み方法の変更

昨年まで顧問総会を、4月の平日に行っていました。昨今の公務等の繁忙・生徒引率のない出張のしにくさ、コンテスト説明の重複などを考慮し、生徒へのコンテスト説明会と重ねる。(3月16日に行われたアンデパンダン大会の時に予告)・・・本日、4月26日(土)の一日に変更。

上記のように変更に伴い、参加申し込みを郵送に変更。

生徒向け説明会に参加申し込みを行っていたが、生徒向け説明会を早めたため、2度生徒を招集するのをさける。他の部活動の大会や、コンクールなどで取り入れている郵送での参加申し込みを行いたい。

提案 2 . 参加費の納入方法を振り込みに変更

昨今の会計処理等の透明性の重視・上記の申し込み方法の変更により、参加費を振り込みに変更したい。

- * 郵送での参加申し込みは、NHK大会とアンデパンダン大会
総文祭は、アンデパンダンの説明会に申し込みを行うことができる。
- * 参加費は、すべて振り込みによる納入にする。

提案 3 . NHK杯全国高校放送コンテスト神奈川大会の審査員について

NHK横浜放送局から、毎年アナウンサー1名、ディレクター1名、計2名の審査員に来ていただいています。しかし、参加者も増え、予選通過の人数を50人程度としておりますが、アナウンス・朗読部門両方で100名をアナウンサーお一人で審査していただいております。また、番組部門は、テレビドキュメント部門のみ専門審査員に審査をしていただいております。他部門とのバランスがよくありませんでした。そこで、役員校で話し合い、今年度から、アナウンス・朗読部門の本選への通過者の数は減らさず、本選は会場を分けて行い、NHKアナウンサーには、アナウンス部門を審査していただき、朗読部門には専門家をお一人お呼びしたいと思っております。また、番組部門もそれぞれ専門家に入っていただこうと考えています。